

令和 7（2025）年川越市入込観光客数の概要

1 集計期間

令和 7 年 1 月 1 日から令和 7 年 12 月 31 日まで

2 結果

令和 7 年の川越市入込観光客数については以下の結果となった。

令和 7 年川越市入込観光客数	7,160,000 人	対前年比 97.3%	(令和 6 年 7,358,000 人)
国内観光客数	6,354,000 人	対前年比 95.4%	(令和 6 年 6,659,000 人)
外国人観光客数（推計）	806,000 人	対前年比 115.3%	(令和 6 年 699,000 人)

3 考察

(1) 国内観光客数

国内観光客数は、6,354,000 人 対前年比 95.4% (305,000 人減) となった。

主な減少理由として以下の要因が考えられる。

①大型行祭事イベントの来訪人数

令和 7 年大型行祭事イベントの来訪人数は、845,060 人であり、令和 6 年の 999,233 人に
対し、154,173 人の減少（前年比 84.6%）となり、国内観光客数の減少人数 305,000 人のう
ち、50.5%と約半数を占め、国内観光客数減少の大きな要因となった。

大型行祭事イベントの観光客数が減少した大きな要因としては、川越百万灯夏まつりが前
年の 2 日開催から 1 日開催へと変更となったこと、川越まつり開催日のうち 1 日が天候不順
であったことなどが考えられる。

令和 7 年川越百万灯夏まつり	92,000 人	対前年比 57.5%	(令和 6 年 160,000 人)
令和 7 年川越まつり	661,000 人	対前年比 89.6%	(令和 6 年 738,000 人)

②GPS データによる主要 4 エリアの来訪人数

主要 4 エリアの来訪人数については、令和 7 年が 3,160,277 人であり、令和 6 年の
3,310,141 人に対し、149,864 人の減少（前年比 95.5%）となった。

令和 7 年は、1 月、2 月、11 月を除く月において、来訪人数が前年同月に比べ減少した。

来訪人数の減少について、主に以下の理由が考えられる。

◆天候による影響

月別の来訪人数について着目すると、夏季（6 月～8 月）は前年に比べ 62,191 人の大幅な
減少となった。この間の天候は、晴または曇の日が前年と比較し 15 日の増加であった。好
天に恵まれた反面、近年の猛暑の影響により来訪を控えたことが減少の理由と考えられる。

また、9 月においても前年に比べ 30,449 人減少しており、残暑により来訪を控えたと思
えられる。

次に休日の来訪者数について着目すると、休日の一日平均来訪人数が、4 月（前年比
86.5%）、5 月（前年比 85.0%）、8 月（前年比 85.8%）、10 月（前年比 82.6%）に 1 割以上減少
している。これらの月については、多くの集客が見込める休日に雨天の割合が高かったこと
（雨天日 5 日増）が影響したと考えられる。

主要4エリアについては、天候によって来訪が左右されやすいことから、これらの条件により来訪人数が大きく減少したものと考えられる。

③その他主要観光地点の来訪人数

来訪人数については、令和6年の2,350,605人に対し、令和7年は2,349,185人であり、年間を通じての来訪人数はほぼ横ばい（前年比99.9%）となった。

その他主要観光地点の来訪人数は、全天候型施設が多いことから、主要4エリアと異なり、天候によって来訪が左右されにくく、また施設機能やイベント等に大きな変化が見られなかったこと、例年どおり営業していたことから、前年と同様の水準であったと考えられる。

（2）外国人観光客数

JNTO（日本政府観光局）の訪日外国人客数推計によると、令和7年1～11月の推計値39,065,600人に対し、令和6年の同期間（1～11月）は、33,380,260人で、対前年伸び率が約17.0%となっている。

さらに、令和8年1月20日の国土交通大臣による記者会見において、令和7年の年間の訪日外国人客数が史上初めて4,000万人を突破し、過去最多の約4,270万人（推計値）に達したと発表された。令和6年の36,869,900人に対し、対前年比で約15.8%の伸び率となる。

本市の令和7年の外国人観光客数は806,000人であり、対前年伸び率は約15.3%となる。国全体の伸び率と比較すると、若干下がるが、ほぼ同様の水準で推移している傾向が確認された。